

質問27. 脳卒中の医療・介護において自治体（市町村、広域連合体など）に希望すること（複数回答可）

- a. みんなが協働（対等の立場で相互にお互いの不足を補い合い、ともに協力して脳卒中医療・介護問題解決に向けた取り組みをすること）する意識を高める環境をつくってほしい
- b. 地域における医療および介護に関する情報をもっと提供してほしい
- c. 施設・事業所の意見をもっと聞いてほしい
- d. 脳卒中患者の医療および介護の現状をもっと調べてほしい
- e. その他（ ）

【Ⅲ】介護保険に関する質問

質問28. 介護保険について

- a. ほとんどの従事者が介護保険を十分に理解し利用者へわかりやすく説明できる
- b. 一部の従事者が介護保険を十分に理解し利用者へわかりやすく説明できる
- c. ほとんどの従事者が介護保険をだいたい理解し利用者へ説明できる
- d. 一部の従事者が介護保険をだいたい理解し利用者へ説明できる
- e. ほとんどの従事者が介護保険をあまり理解していない
- f. その他（ ）

質問29. 脳卒中患者への介護支援専門員（ケアマネージャー）の関わり

- a. 十分に関わりをもっている
- b. だいたい関わりをもっている
- c. あまり関わりがない
- d. どちらともいえない
- e. その他（ ）

質問30. 利用者から介護保険の主治医意見書作成の依頼があった場合

- a. すべて作成している
- b. だいたい作成している
- c. 他の診療所や病院にお願いすることが多い
- d. 全面的に他の診療所や病院にお願いしている
- e. その他（ ）

質問31. 現在の医療保険と介護保険によるシステムの問題点は（複数回答可）

- a. 十分なりハビリが出来ない
- b. 十分な介護が出来ない
- c. システムが理解しにくい
- d. 地域連携が難しい
- e. 脳卒中患者が満足しにくい
- f. その他（ ）

質問32. 現在の医療保険と介護保険によるシステムの利点は（複数回答可）

- a. 十分なりハビリが出来る
- b. 十分な介護が出来る
- c. システムが理解しやすい
- d. 地域連携しやすい
- e. 脳卒中患者が満足できる
- f. その他（ ）

【Ⅳ】一般診療所の適当な評価尺度に関する質問

質問33. 脳卒中地域医療で、第三者が一般診療所を評価するのに適当な尺度は何ですか（複数回答可）

- a. 急性期病院との連携機能の尺度
- b. 回復期病棟との連携機能の尺度
- c. 維持期施設・事業所との連携機能の尺度
- d. 地域での医療および介護情報の共有機能の尺度
- e. その他（ ）

脳卒中地域医療や本研究に対して、ご意見などございましたら、以下の欄にご記入ください。

質問は以上です。貴重な時間をいただき有り難うございました。

本調査用紙を同封の返信用封筒に入れて、**平成19年9月30日まで**にご返却ください。

C. 脳卒中地域医療の現状を把握するための

全国アンケート調査

(維持期入院入所施設用)

厚生労働科学研究費補助金による循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業
「脳卒中地域医療におけるインディケータの選定と監査システム開発に関する研究」班

主任研究者	国立循環器病センター内科脳血管部門部長	峰松一夫
分担研究者	秋田県立脳血管研究センター所長	安井信之
	聖マリアンナ医科大学神経内科教授	長谷川泰弘
	国立循環器病センター内科脳血管部門部長	成富博章
	国立病院機構九州医療センター統括診療部長	岡田 靖

本研究に関する問い合わせ

〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1 国立循環器病センター内

「脳卒中地域医療研究」班 中央事務局 担当 古賀政利

TEL: 06-6833-5012 (内線 8397), FAX: 06-6835-5267, E-mail: koga@hsp.ncvc.go.jp

C-15

本アンケート調査の背景と目的

我が国では核家族化が進み、近年は少子超高齢化社会が現実のものとなりました。膨らみ続ける医療・介護費や、新たに始まった介護保険と従来の医療保険とのすみ分けも問題になっています。脳卒中医療および介護は、このような社会変化、医療および介護体制全体の変化の影響を最も受ける分野です。脳卒中は介護を要する原因疾患の第一位です。高齢化の進行とともに脳卒中患者数は増加し、介護を必要とする後遺症患者も増加中です。

現在までに、脳卒中診療および介護施設・事業所は細分化され、様々な医療施設と介護施設・事業所が、病期および状態にあわせて、医療や介護を担当するようになりました。今後は、脳卒中の発症から介護までを長い期間にわたって、各施設・事業所が協力して継ぎ目のない医療および介護を提供していく必要があります。

私たちは厚生労働科学研究費補助金による「脳卒中地域医療」に関する研究班を組織し、脳卒中医療および介護の現状を十分に把握した上で、各施設・事業所間の連携構築、行政との連携構築をはかり、その機能を標準化された定量的尺度で評価するシステムの開発に取り組んでいます。平成19年度は、脳卒中回復期および維持期施設・事業所に対するアンケート調査を行い、その現状を分析することにしました。

アンケート結果は全体をまとめて研究のために使用するもので、各施設・事業所の個別情報を公表することはありません。

ご多忙中、誠に恐縮ではございますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

- **貴施設の統括的役割の方**にご記入いただければ幸いです。
- 以下の質問に、ボックス（□）にチェックをするか、括弧内に記入してご回答ください。
- ご意見などございましたら、最後のページに自由記入欄を設けております。
- 本調査用紙を、同封の返信用封筒に入れて**平成19年9月30日まで**にご返送ください。

御記入年月日：平成 年 月 日

御記入者の役職： _____

御芳名： _____

貴施設名： _____

*御芳名と貴施設名のご記入は、差し支えない範囲でお願いします。なお、御芳名と貴施設名は誤ってアンケートを再送付することを避けるため利用させていただきます。

【I】貴施設に関する質問

質問1. 貴施設では、脳卒中患者の診療や介護を行っておられますか

a. はい b. いいえ

*質問1で回答がb. いいえの場合は、以下の質問にご回答の必要はありません。

ここまでの記入で、同封の返信用封筒に入れて平成19年9月30日までにご返送ください。

質問2. 貴施設には様々な機能・役割がありますか（複数回答可）

a. 急性期病院 b. 回復期病棟 c. 一般診療所 d. 医療保険適用療養型病床群
e. 介護療養型医療施設 f. 介護老人福祉施設 g. 介護老人保健施設 h. 訪問介護
i. 訪問入浴介護 j. 訪問看護 k. 訪問リハビリ l. 通所介護 m. 通所リハビリ
n. 短期入所生活介護 o. 短期入所療養介護 p. 特定施設入居者生活介護
q. 夜間対応型訪問介護 r. 認知症対応型通所介護 s. 小規模多機能型居住介護
t. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 u. 地域密着型特定施設入居者生活介護
v. 認知症対応型共同生活介護 w. なし x. その他（ ）

質問3. 貴施設のベッド数は（ ）床

質問4. 質問3のうち脳卒中患者が利用しているベッド数は（約 ）床

質問5. 貴施設に勤務する実働スタッフ数は

看護師（ ）名, 全看護補助者（ ）名, ソーシャルワーカー（MSW）（ ）名
理学療法士（PT）（ ）名, 作業療法士（OT）（ ）名, 言語聴覚士（ST）（ ）名, 医師（ ）名

質問6. 脳卒中患者への医師の関わり

a. 十分に関わりをもっている b. だいたい関わりをもっている c. あまり関わりがない
d. どちらともいえない e. その他（ ）

質問7. 脳卒中患者の受け入れ制限はありますか、あれば理由を教えてください（複数回答可）

a. 自宅退院が困難 b. 重症 c. 合併症が多い d. MRSA e. 気管切開 f. 人工呼吸器
g. 褥瘡 h. 認知症 i. 不穏 j. ワーファリン内服中 k. 経管栄養 l. 胃瘻
m. 透析 n. 特になし o. その他（ ）

質問8. 貴施設の受け入れ待機期間はどのくらいですか

a. 7日以内 b. 14日以内 c. 1ヶ月以内 d. 2ヶ月以内
e. 3ヶ月以内 f. 半年以内 g. 半年を超える h. その他（ ）

質問9. 脳卒中患者が在宅で生活できない主な理由は何ですか（複数回答可）

a. 独居 b. 高齢者のみの世帯 c. その他の介護力不足
d. 気管切開, 人工呼吸器, 経管栄養など継続的医療が必要
e. 多くの介護が必要 f. 介護力はあると思われるが, 本人や家族の希望
g. その他（ ）

質問10. 脳卒中患者に対して十分なりハビリを提供できていますか

a. 十分に提供できている b. だいたい提供できている c. あまり提供できていない
d. どちらともいえない e. リハビリは行っていない
f. その他（ ）

質問1 1. 脳卒中患者1人に対する多職種によるカンファレンスの頻度は
a. おこなっていない b. 1ヶ月に1回以上 c. 2ヶ月に1回程度
d. 3ヶ月に1回程度 e. 3-6ヶ月に1回程度 f. 1年に1回程度

質問1 2. リハビリ機能について(リハビリテーション機能評価表*などに準じる)
a. 十分な機能を維持している b. 十分なリハビリ機能があるか判断できない
c. 十分なリハビリ機能があるとはいえないが、機能改善を図っている
d. 十分なリハビリ機能があるとはいえず、今後の改善も困難である
e. その他()
*日本リハビリテーション病院・施設協会発行

質問1 3. 日常生活動作の評価に使用しているスケールは
a. Barthel Index b. Functional Independence Measure (FIM) c. modified Rankin Scale
d. 介護保険意見書の日常生活自立度 e. 評価していない f. その他()

質問1 4. 脳卒中患者の平均滞在日数は何日ですか(約 日)

質問1 5. 脳卒中患者のうち自宅へもどるのは約何パーセントですか(約 %)

【Ⅱ】脳卒中地域連携に関する質問

質問1 6. 脳卒中における地域医療圏とは、どのような範囲と考えますか
a. 市町村 b. 二次医療圏 c. 都道府県 d. 地域により異なる
e. 範囲はこだわらない f. その他()

質問1 7. 脳卒中地域医療で中心的な役割をもつべき施設等は
a. 急性期病院 b. 回復期病棟 c. 維持期施設・事業所 d. 自治体 e. 保健所
f. 地域により異なる g. こだわらない h. その他()

質問1 8. 脳卒中医療・介護において急性期病院との連携は良好ですか
a. 非常に良好 b. 一部の救急病院とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問1 9. 脳卒中医療・介護において急性期病院に希望すること(複数回答可)
a. 患者が急病の時に、すぐに受け入れてほしい b. 十分な医療情報を伝達してほしい
c. リハビリ機能を充実させてほしい d. 急性期の運動機能や日常生活動作に関する情報がほしい
e. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい f. 在宅生活支援に力をいれてほしい
g. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい h. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい
i. 特になし j. その他()

質問2 0. 脳卒中医療・介護において回復期病棟との連携は良好ですか
a. 非常に良好 b. 一部の回復期病棟とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問2 1. 脳卒中医療・介護において回復期病棟に希望すること(複数回答可)
a. 入院中の医療情報を伝達してほしい b. リハビリ機能を充実させてほしい
c. 入院中の運動機能や日常生活動作に関する情報がほしい
d. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい e. 在宅生活支援に力をいれてほしい
f. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい g. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい
h. 特になし i. その他()

質問22. 脳卒中医療・介護において一般診療所との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部の一般診療所とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問23. 脳卒中医療・介護において一般診療所に希望すること（複数回答可）

- a. 脳卒中患者の医療情報を共有したい b. 脳卒中患者の介護情報を共有したい
c. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい d. 在宅生活支援に力をいれてほしい
e. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい f. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい
g. 特になし h. その他（ ）

質問24. 脳卒中医療・介護において、他の維持期施設・事業所（入院 入所、通所および訪問）との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部の維持期施設・事業所とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問25. 脳卒中の医療・介護において周辺地域全体の連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部は良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問26. 周辺の急性期病院、回復期病棟、一般診療所、維持期施設・事業所などと脳卒中患者の医療情報を共有する取り組みをしていますか

- a. 地域連携パスなどで既に共有している b. 今後、共有する予定 c. 予定なし
d. その他（ ）

質問27. 周辺の急性期病院、回復期病棟、一般診療所、維持期施設・事業所などと脳卒中患者の日常生活動作などの介護情報を共有する取り組みをしていますか

- a. 地域連携パスなどで既に共有している b. 今後、共有する予定 c. 予定なし
d. その他（ ）

質問28. 脳卒中の医療・介護において周辺地域の連携構築で希望すること（複数回答可）

- a. 連絡会などのコミュニケーションの場がほしい b. 自治体主体の連携づくり
c. 医療・介護従事者主体の連携づくり d. 自治体と医療・介護従事者が協力した連携づくり
e. 脳卒中患者の医療情報を共有したい f. 脳卒中患者の介護情報を共有したい g. 特になし
h. その他（ ）

質問29. 脳卒中の医療・介護において自治体（市町村、広域連合体など）との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. だいたい良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問30. 脳卒中の医療・介護において自治体（市町村、広域連合体など）に希望すること（複数回答可）

- a. みんなが協働（対等の立場で相互に相互の不足を補い合い、ともに協力して脳卒中医療・介護問題解決に向けた取り組みをすること）する意識を高める環境をつくってほしい
b. 地域における医療および介護に関する情報をもっと提供してほしい
c. 施設・事業所の意見をもっと聞いてほしい
d. 脳卒中患者の医療および介護の現状をもっと調べてほしい
e. その他（ ）

【Ⅲ】介護保険に関する質問

質問31. 介護保険について

- a. ほとんどの従事者が介護保険を十分に理解し利用者へわかりやすく説明できる
- b. 一部の従事者が介護保険を十分に理解し利用者へわかりやすく説明できる
- c. ほとんどの従事者が介護保険をだいたい理解し利用者へ説明できる
- d. 一部の従事者が介護保険をだいたい理解し利用者へ説明できる
- e. ほとんどの従事者が介護保険をあまり理解していない
- f. その他 ()

質問32. 脳卒中患者への介護支援専門員（ケアマネジャー）の関わり

- a. 十分に関わりをもっている
- b. だいたい関わりをもっている
- c. あまり関わりがない
- d. どちらともいえない
- e. その他 ()

質問33. 脳卒中患者の介護サービスについて

- a. 十分な介護サービスを提供できている
- b. だいたい介護サービスを提供できている
- c. あまり介護サービスを提供できていない
- d. どちらとも言えない
- e. その他 ()

質問34. 脳卒中患者から介護保険の主治医意見書作成の依頼があった場合

- a. すべて作成している
- b. だいたい作成している
- c. 他の診療所や病院にお願いすることが多い
- d. 全面的に他の診療所や病院にお願いしている
- e. その他 ()

質問35. 現在の医療保険と介護保険によるシステムの問題点は（複数回答可）

- a. 十分なリハビリを提供しにくい
- b. 十分な介護を提供しにくい
- c. システムが理解しにくい
- d. 連携が難しい
- e. 脳卒中患者が満足しにくい
- f. その他 ()

質問36. 現在の医療保険と介護保険によるシステムの利点は（複数回答可）

- a. 十分なリハビリを提供しやすい
- b. 十分な介護を提供しやすい
- c. システムが理解しやすい
- d. 連携しやすい
- e. 脳卒中患者が満足できる
- f. その他 ()

【Ⅳ】維持期入院入所施設の適当な評価尺度に関する質問

質問37. 脳卒中地域医療で、第三者が維持期入院入所施設を評価するのに適当な尺度は何ですか（複数回答可）

- a. 在宅生活支援の尺度
- b. リハビリ機能**の尺度
- c. 急性期病院との連携機能の尺度
- d. 回復期病棟との連携機能の尺度
- e. 維持期施設・事業所との連携機能の尺度
- f. 地域での医療および介護情報の共有機能の尺度
- g. 平均滞在日数
- h. 自宅へもどる割合
- i. 多職種によるカンファレンスの内容や回数
- j. その他 ()

**日本リハビリテーション病院・施設協会が発行するリハビリテーション機能評価表などに準じる

脳卒中地域医療や本研究に対して、ご意見などございましたら、以下の欄にご記入ください。

質問は以上です。貴重な時間をいただき有り難うございました。

本調査用紙を同封の返信用封筒に入れて、**平成 19 年 9 月 30 日まで**にご返却ください。

D. 脳卒中地域医療の現状を把握するための

全国アンケート調査

(通所および訪問施設事業所用)

厚生労働科学研究費補助金による循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業
「脳卒中地域医療におけるインディケータの選定と監査システム開発に関する研究」班

主任研究者	国立循環器病センター内科脳血管部門部長	峰松一夫
分担研究者	秋田県立脳血管研究センター所長	安井信之
	聖マリアンナ医科大学神経内科教授	長谷川泰弘
	国立循環器病センター内科脳血管部門部長	成富博章
	国立病院機構九州医療センター統括診療部長	岡田 靖

本研究に関する問い合わせ

〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1 国立循環器病センター内

「脳卒中地域医療研究」班 中央事務局 担当 古賀政利

TEL: 06-6833-5012 (内線 8397), FAX: 06-6835-5267, E-mail: koga@hsp.ncvc.go.jp

D-22

本アンケート調査の背景と目的

我が国では核家族化が進み、近年は少子超高齢化社会が現実のものとなりました。膨らみ続ける医療・介護費や、新たに始まった介護保険と従来の医療保険とのすみ分けも問題になっています。脳卒中医療および介護は、このような社会変化、医療および介護体制全体の変化の影響を最も受ける分野です。脳卒中は介護を要する原因疾患の第一位です。高齢化の進行とともに脳卒中患者数は増加し、介護を必要とする後遺症患者も増加中です。

現在までに、脳卒中診療および介護施設・事業所は細分化され、様々な医療施設と介護施設・事業所が、病期および状態にあわせて、医療や介護を担当するようになりました。今後は、脳卒中の発症から介護までを長い期間にわたって、各施設・事業所が協力して継ぎ目のない医療および介護を提供していく必要があります。

私たちは厚生労働科学研究費補助金による「脳卒中地域医療」に関する研究班を組織し、脳卒中医療および介護の現状を十分に把握した上で、各施設・事業所間の連携構築、行政との連携構築をはかり、その機能を標準化された定量的尺度で評価するシステムの開発に取り組んでいます。平成19年度は、脳卒中回復期および維持期施設・事業所に対するアンケート調査を行い、その現状を分析することにしました。

アンケート結果は全体をまとめて研究のために使用するもので、各施設・事業所の個別情報を公表することはありません。

ご多忙中、誠に恐縮ではございますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

- **貴施設・事業所の統括的役割の方**にご記入いただければ幸いです。
- 以下の質問に、ボックス（□）にチェックをするか、括弧内に記入してご回答ください。
- ご意見などございましたら、最後のページに自由記入欄を設けております。
- 本調査用紙を、同封の返信用封筒に入れて**平成19年9月30日まで**にご返送ください。

御記入年月日：平成 年 月 日

御記入者の役職： _____

御芳名： _____

貴施設名： _____

＊御芳名と貴施設名のご記入は、差し支えのない範囲でお願いします。なお、御芳名と貴施設名は誤ってアンケートを再送付することを避けるため利用させていただきます。

【Ⅱ】脳卒中地域連携に関する質問

質問 1 1. 脳卒中における地域医療圏とは、どのような範囲と考えますか

- a. 市町村 b. 二次医療圏 c. 都道府県 d. 地域により異なる
e. 範囲はこだわらない f. その他 ()

質問 1 2. 脳卒中地域医療で中心的な役割をもつべき施設等は

- a. 急性期病院 b. 回復期病棟 c. 維持期施設・事業所 d. 自治体 e. 保健所
f. 地域により異なる g. こだわらない h. その他 ()

質問 1 3. 脳卒中医療・介護において急性期病院との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部の救急病院とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問 1 4. 脳卒中医療・介護において急性期病院に希望すること（複数回答可）

- a. 患者が急病の時に、すぐに受け入れてほしい b. 十分な医療情報を伝達してほしい
c. リハビリ機能を充実させてほしい d. 急性期の運動機能や日常生活動作に関する情報がほしい
e. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい f. 在宅生活支援に力をいれてほしい
g. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい h. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい
i. 特になし j. その他 ()

質問 1 5. 脳卒中医療・介護において回復期病棟との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部の回復期病棟とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問 1 6. 脳卒中医療・介護において回復期病棟に希望すること（複数回答可）

- a. 入院中の医療情報を伝達してほしい b. リハビリ機能を充実させてほしい
c. 入院中の運動機能や日常生活動作に関する情報がほしい
d. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい e. 在宅生活支援に力をいれてほしい
f. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい g. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい
h. 特になし i. その他 ()

質問 1 7. 脳卒中医療・介護において一般診療所との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部の一般診療所とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問 1 8. 脳卒中医療・介護において一般診療所に希望すること（複数回答可）

- a. 患者が急病の時に、すぐに受け入れてほしい b. 脳卒中患者の医療情報を共有したい
c. 脳卒中患者の介護情報を共有したい d. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい
e. 在宅生活支援に力をいれてほしい f. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい
g. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい h. 特になし
i. その他 ()

質問 1 9. 脳卒中医療・介護において維持期施設（入院，入所）との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部の維持期施設・事業所とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問20. 脳卒中医療・介護において維持期施設（入院，入所）に希望すること（複数回答可）

- a. 待機期間を短縮してほしい
- b. 入院・入所基準を緩和してほしい
- c. リハビリを充実させてほしい
- d. リハビリ以外のサービス内容を充実させてほしい
- e. 在宅生活支援に力をいれてほしい
- f. 脳卒中患者の医療情報を伝達してほしい
- g. 脳卒中患者の運動機能や日常生活動作に関する情報を伝達してほしい
- h. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい
- i. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい
- j. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい
- k. 特になし
- l. その他（ ）

質問21. 脳卒中医療・介護において，他の維持期施設（通所，訪問）との連携は良好ですか

- a. 非常に良好
- b. 一部の維持期施設・事業所とは良好
- c. あまり良好でない
- d. 非常に悪い
- e. どちらともいえない
- f. ほとんど関わりが無い

質問22. 脳卒中医療・介護において，他の維持期施設（通所，訪問）に希望すること（複数回答可）

- a. リハビリを充実させてほしい
- b. リハビリ以外のサービス内容を充実させてほしい
- c. 脳卒中患者の医療情報を共有したい
- d. 脳卒中患者の運動機能や日常生活動作に関する情報を共有したい
- e. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい
- f. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい
- g. 特になし
- h. その他（ ）

質問23. 脳卒中の医療・介護において周辺地域全体の連携は良好ですか

- a. 非常に良好
- b. 一部は良好
- c. あまり良好でない
- d. 非常に悪い
- e. どちらともいえない
- f. ほとんど関わりが無い

質問24. 周辺の急性期病院，回復期病棟，一般診療所，維持期施設・事業所などと脳卒中患者の医療情報を共有する取り組みをしていますか

- a. 地域連携パスなどで既に共有している
- b. 今後，共有する予定
- c. 予定なし
- d. その他（ ）

質問25. 周辺の急性期病院，回復期病棟，一般診療所，維持期施設・事業所などと脳卒中患者の日常生活動作などの介護情報を共有する取り組みをしていますか

- a. 地域連携パスなどで既に共有している
- b. 今後，共有する予定
- c. 予定なし
- d. その他（ ）

質問26. 脳卒中の医療・介護において周辺地域の連携構築で希望すること（複数回答可）

- a. 連絡会などのコミュニケーションの場がほしい
- b. 自治体主体の連携づくり
- c. 医療・介護従事者主体の連携づくり
- d. 自治体と医療・介護従事者が協力した連携づくり
- e. 脳卒中患者の医療情報を共有したい
- f. 脳卒中患者の介護情報を共有したい
- g. 特になし
- h. その他（ ）

質問27. 脳卒中の医療・介護において自治体（市町村，広域連合体など）との連携は良好ですか

- a. 非常に良好
- b. だいたい良好
- c. あまり良好でない
- d. 非常に悪い
- e. どちらともいえない
- f. ほとんど関わりが無い

質問28. 脳卒中の医療・介護において自治体（市町村、広域連合体など）に希望すること（複数回答可）

- a. みんなが協働（対等の立場で相互にお互いの不足を補い合い、ともに協力して脳卒中医療・介護問題解決に向けた取り組みをすること）する意識を高める環境をつくってほしい
- b. 地域における医療および介護に関する情報をもっと提供してほしい
- c. 施設・事業所の意見をもっと聞いてほしい
- d. 脳卒中患者の医療および介護の現状をもっと調べてほしい
- e. その他（ ）

【Ⅲ】介護保険に関する質問

質問29. 介護保険について

- a. ほとんどの従事者が介護保険を十分に理解し利用者へわかりやすく説明できる
- b. 一部の従事者が介護保険を十分に理解し利用者へわかりやすく説明できる
- c. ほとんどの従事者が介護保険をだいたい理解し利用者へ説明できる
- d. 一部の従事者が介護保険をだいたい理解し利用者へ説明できる
- e. ほとんどの従事者が介護保険をあまり理解していない
- f. その他（ ）

質問30. 脳卒中患者への介護支援専門員（ケアマネージャー）の関わり

- a. 十分に関わりをもっている
- b. だいたい関わりをもっている
- c. あまり関わりがない
- d. どちらともいえない
- e. その他（ ）

質問31. 脳卒中患者の介護サービスについて

- a. 十分な介護サービスを提供できている
- b. だいたい介護サービスを提供できている
- c. あまり介護サービスを提供できていない
- d. どちらとも言えない
- e. その他（ ）

質問32. 現在の医療保険と介護保険によるシステムの問題点は（複数回答可）

- a. 十分なリハビリを提供しにくい
- b. 十分な介護を提供しにくい
- c. システムが理解しにくい
- d. 地域連携が難しい
- e. 脳卒中患者が満足しにくい
- f. その他（ ）

質問33. 現在の医療保険と介護保険によるシステムの利点は（複数回答可）

- a. 十分なリハビリを提供しやすい
- b. 十分な介護を提供しやすい
- c. システムが理解しやすい
- d. 地域連携しやすい
- e. 脳卒中患者が満足できる
- f. その他（ ）

【Ⅳ】在宅介護施設・事業所の適当な評価尺度に関する質問

質問34. 脳卒中地域医療で、第三者が維持期在宅介護施設・事業所を評価するのに適当な尺度は可ですか（複数回答可）

- a. 介護保険理解の尺度
- b. 急性期病院との連携機能の尺度
- c. 回復期病棟との連携機能の尺度
- d. 維持期病院・施設との連携機能の尺度
- e. 地域での医療および介護情報の共有機能の尺度
- f. 介護支援専門員との連携の尺度
- g. 医師との連携の尺度
- h. リハビリ機能**の尺度
- i. その他（ ）

**日本リハビリテーション病院・施設協会が発行するリハビリテーション機能評価表などに準じる

脳卒中地域医療や本研究に対して、ご意見などございましたら、以下の欄にご記入ください。

質問は以上です。貴重な時間をいただき有り難うございました。

本調査用紙を同封の返信用封筒に入れて、**平成 19 年 9 月 30 日まで**にご返却ください。

E. 脳卒中地域医療の現状を把握するための
全国アンケート調査
(急性期病院用)

厚生労働科学研究費補助金による循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業
「脳卒中地域医療におけるインディケータの選定と監査システム開発に関する研究」班

主任研究者	国立循環器病センター内科脳血管部門部長	峰松一夫
分担研究者	秋田県立脳血管研究センター所長	安井信之
	聖マリアンナ医科大学神経内科教授	長谷川泰弘
	国立循環器病センター内科脳血管部門医長	長束一行
	国立病院機構九州医療センター統括診療部長	岡田 靖

本研究に関する問い合わせ

〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1 国立循環器病センター内

「脳卒中地域医療研究」班 中央事務局 担当 古賀政利

TEL: 06-6833-5012 (内線 8397), FAX: 06-6835-5267, E-mail: koga@hsp.ncvc.go.jp

本アンケート調査の背景と目的

我が国では核家族化が進み、近年は少子超高齢化社会が現実のものとなりました。膨らみ続ける医療・介護費や、新たに始まった介護保険と従来の医療保険とのすみ分けも問題になっています。脳卒中医療および介護は、このような社会変化、医療および介護体制全体の変化の影響を最も受ける分野です。脳卒中は介護を要する原因疾患の第一位です。高齢化の進行とともに脳卒中患者数は増加し、介護を必要とする後遺症患者も増加中です。

現在までに、脳卒中診療および介護施設・事業所は細分化され、様々な医療施設と介護施設・事業所が、病期および状態にあわせて、医療や介護を担当するようになりました。今後は、脳卒中の発症から介護までを長い期間にわたって、各施設・事業所が協力して継ぎ目のない医療および介護を提供していく必要があります。

私たちは厚生労働科学研究費補助金による「脳卒中地域医療」に関する研究班を組織し、脳卒中医療および介護の現状を十分に把握した上で、各施設・事業所間の連携構築、行政との連携構築をはかり、その機能を標準化された定量的尺度で評価するシステムの開発に取り組んでいます。平成19年度は、脳卒中回復期および維持期施設・事業所に対するアンケート調査を行い、現状分析を行ってきました。平成20年度には、急性期病院の地域連携状況を調査し、地域全体での連携、介護の状況を把握することとしました。

アンケート結果は全体をまとめて研究のために使用するもので、各施設・事業所の個別情報を公表することはありません。

ご多忙中、誠に恐縮ではございますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

- **急性期の脳卒中診療実務統括医師**にご記入いただければ幸いです。
- 以下の質問に、ボックス（□）にチェックをするか、括弧内に記入してご回答ください。
- ご意見などございましたら、最後のページに自由記入欄を設けております。
- 本調査用紙を、同封の返信用封筒に入れて**平成20年6月30日まで**にご返送ください。

御記入年月日：平成 年 月 日

御記入者の役職： _____

御芳名： _____

貴施設名： _____

*御芳名と貴施設名のご記入は、差し支えない範囲でお願いします。なお、御芳名と貴施設名は誤ってアンケートを再送付することを避けるため利用させていただきます。

【Ⅰ】貴施設に関する質問

質問1. 貴施設では、脳卒中患者の急性期診療を行っておられますか

- a. はい b. いいえ

*質問1で回答がb. いいえの場合は、以下の質問にご回答の必要はありません。

ここまでの記入で、同封の返信用封筒に入れて平成20年6月30日までにご返送ください。

質問2. 貴施設では、急性期病院以外に機能・役割がありますか（複数回答可）

- a. 回復期病棟 b. 一般診療所 c. 医療保険適用療養型病床群 d. 介護療養型医療施設
e. 介護老人福祉施設 f. 介護老人保健施設 g. 訪問介護 h. 訪問入浴介護 i. 訪問看護
j. 訪問リハビリ k. 通所介護 l. 通所リハビリ m. 短期入所生活介護 n. 短期入所療養介護
o. 特定施設入居者生活介護 p. 夜間対応型訪問介護 q. 認知症対応型通所介護
r. 小規模多機能型居住介護 s. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護
t. 地域密着型特定施設入居者生活介護 u. 認知症対応型共同生活介護 v. なし
w. その他（)

質問3. 脳卒中患者の日常生活動作の評価に使用しているスケールは

- a. Barthel Index b. Functional Independence Measure (FIM) c. modified Rankin Scale
d. 介護保険意見書の日常生活自立度 e. 評価していない f. その他（)

【Ⅱ】脳卒中地域連携に関する質問

質問4. 脳卒中における地域医療圏とは、どのような範囲と考えますか

- a. 市町村 b. 二次医療圏 c. 都道府県 d. 地域により異なる
e. 範囲はこだわらない f. その他（)

質問5. 脳卒中地域医療で中心的な役割をもつべき施設等は

- a. 急性期病院 b. 回復期病棟 c. 維持期施設・事業所 d. 自治体 e. 保健所
f. 地域により異なる g. こだわらない h. その他（)

質問6. 脳卒中医療・介護において他の急性期病院との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問7. 脳卒中医療・介護において、回復期病棟との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりがない

質問8. 脳卒中医療・介護において回復期病棟に希望すること（複数回答可）

- a. リハビリ機能を充実させてほしい b. 脳卒中患者の医療情報を共有したい
c. 脳卒中患者の介護情報を共有したい d. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい
e. 在宅生活支援に力をいれてほしい f. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい
g. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい h. 待機期間を短くしてほしい
i. 入院基準を緩和してほしい j. 特になし
k. その他（)

質問9. 脳卒中医療・介護において一般診療所との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりが無い

質問10. 脳卒中医療・介護において一般診療所に希望すること（複数回答可）

- a. 維持期脳卒中患者の外来フォローアップ b. 脳卒中患者の医療情報を共有したい
c. 脳卒中患者の介護情報を共有したい d. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい
e. 在宅生活支援に力をいれてほしい f. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい
g. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい h. 特になし
i. その他（ ）

質問11. 脳卒中医療・介護において維持施設・事業所（入院 入所 通所および訪問）との連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部とは良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりが無い

質問12. 脳卒中医療・介護において維持施設・事業所（入院 入所 通所および訪問）に希望すること（複数回答可）

- a. 待機期間を短縮してほしい b. 入院・入所基準を緩和してほしい
c. リハビリを充実させてほしい d. リハビリ以外のサービス内容を充実させてほしい
e. 在宅生活支援に力をいれてほしい f. 脳卒中患者の医療情報を共有したい
g. 脳卒中患者の介護情報を共有したい h. 連絡会やカンファレンスなどを定期的にもちたい
i. 問い合わせ窓口を簡略化してほしい j. 介護保険意見書を積極的に作成してほしい
k. 特になし l. その他（ ）

質問13. 脳卒中の医療・介護において周辺地域全体の連携は良好ですか

- a. 非常に良好 b. 一部は良好 c. あまり良好でない
d. 非常に悪い e. どちらともいえない f. ほとんど関わりが無い

質問14. 周辺の急性期病院、回復期病棟、一般診療所、維持施設・事業所などと脳卒中患者の医療情報を共有する取り組みをしていますか

- a. 地域連携パスなどで既に共有している b. 今後、共有する予定 c. 予定なし
d. その他（ ）

質問15. 周辺の急性期病院、回復期病棟、一般診療所、維持施設・事業所などと脳卒中患者の日常生活動作などの介護情報を共有する取り組みをしていますか

- a. 地域連携パスなどで既に共有している b. 今後、共有する予定 c. 予定なし
d. その他（ ）

質問16. 脳卒中の医療・介護において周辺地域の連携構築で希望すること（複数回答可）

- a. 連絡会などのコミュニケーションの場がほしい b. 自治体主体の連携づくり
c. 医療・介護従事者主体の連携づくり d. 自治体と医療・介護従事者が協力した連携づくり
e. 脳卒中患者の医療情報を共有したい f. 脳卒中患者の介護情報を共有したい g. 特になし
h. その他（ ）